

## 仕 様 書

### 1 自動販売機の規格及び条件

#### (1) 大きさ

設置面積（転倒防止器具等及び回収ボックスの設置面積を含む。）は、貸付面積の範囲内とし、高さは2m以内とすること。

#### (2) 環境対策

##### ① 省エネ

「照明の自動点滅・減光」、「学習省エネ」、「ピークカット」、「真空断熱材やヒートポンプ採用」など、消費電力量の低減に資する技術等を導入した機種とすること。

##### ② 冷 媒

低GWP冷媒（二酸化炭素、炭化水素及びハイドロフルオロオレフィン(HFO1234yf)等）を採用した機種とすること。

#### (3) その他

Edy、nanaco、ID 等の電子マネーによる決済が可能な機構を有すること。

### 2 遵守事項

#### (1) 安全対策

##### ① 転倒防止

「自動販売機一据付基準」（JIS 規格）及び「自動販売機据付基準マニュアル」（日本自動販売機工業会作成）を遵守した措置を講じるものとする。

##### ② 防 犯

硬貨選別装置及び紙幣識別装置のプログラム改変により、偽造通貨の使用による犯罪の防止に万全を尽くすものとする。

また、屋内設置であっても「自販機堅牢化基準」（日本自動販売機工業会作成）を遵守し、犯罪防止に努めるものとする。

#### (2) 使用済み容器の回収

##### ① 回収ボックスの設置

自動販売機脇に回収ボックスを必要数設置し、設置者の責任で適切に回収・リサイクルすること。

##### ② 回収ボックスの規格

###### ア 素 材

プラスチック製又は金属製とすること。

###### イ 容 積

回収頻度と回収量を考慮し、回収ボックスから空き缶等の使用済み容器が溢れたり、周囲に散乱しない十分な収容容積とすること。

###### ウ その他

使用済み容器以外の投入を禁止する旨の表示をするほか、使用済み容器投入口は一般ゴミが入りにくい構造のものとし、使用済み容器と一般ゴミの混入防止を図ること。

#### (3) 自動販売機の管理運営

① 設置者において、商品の補充及び変更、消費期限の確認、売上金の回収及び釣り銭の補充並びに自動販売機内部・外部及び設置場所周辺の清掃などを行うこと。

② 設置者において、専門技術サービス員による保守業務を随時行い、維持に努めるほか、故障時には即時対応すること。

### 3 販売商品の種類等

#### (1) 販売品目

お茶、水、炭酸飲料、コーヒー、紅茶、ジュース類の缶、ペットボトル又は紙パックなどの密閉式容器入りの飲料とし、酒類の販売は行わないこと。

#### (2) 販売価格

標準小売価格から20円以上下げた価格とすること。

ただし、標準小売価格が120円以下の場合は、10円以上下げた価格とすること。

### 4 売上状況の報告

毎年10月末日及び4月末日までに賃貸借契約に係る前月までの売上状況（月別の販売数及び売上金額）を報告すること。

※4月から9月までの売上状況 10月末日報告、10月から3月までの売上状況 4月末日報告